



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



彼らの目の先には・・・

野鳥さが 199号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 森林公園利用者意見交換会報告-----3ページ
- 支部総会開催のお知らせ-----4ページ
- 各地の観察会報告-----5ページ
- 皆さんからのおたより-----9ページ
- 愛鳥モデル校だより-----11ページ
- 有明海の満潮時刻-----11ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----12ページ
- 支部からのお知らせ-----14ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から-----16ページ
- さやかの「フィールドノート」-----19ページ
- 近隣地区の観察会情報-----20ページ
- 観察会場までの案内-----21ページ
- 観察会などのお知らせ（2015年4月下旬～6月上旬）-----22ページ



役員会報告



●2014年度 第12回 & 2015年度 第1回役員会

【参加者】2014年度 第12回（15/3/8）宮原明幸、田中丸雅雄、江里口立子、中村さやか、青柳良子、島田洋

2015年度 第1回（15/4/12）宮原明幸、江里口立子、橋本泰博、田中丸雅雄、坂田紀子、山崎章弘、中村さやか、蒲原留美、青柳良子、島田洋

【主な話し合い項目】（既に終了した案件については割愛したものがああります）

（1）ラムサール条約登録関連

- ・東与賀海岸と鹿島新竈海岸は、ラムサール条約に登録される見通しである。
- ・条約登録に関するシンポジウムや公聴会などが開催される。支部の役員が出席する。
- ・佐賀市役所が、市民対象にラムサール条約登録の説明会をすとの事。

（2）森林公園利用者意見交換会

- ・森林公園と呼ぶにはあまりにも異質な公園工事が行われている。 どのような「自然環境」がしてくれるか？ 何を植えるべきか提案すべきであろう。
- ・3月18日に公園利用者意見交換会が開催された。
支部からは役員2名が出席。（3ページの報告をご覧ください）

（3）カササギ調査関連

- ・支部会員から、調査報告がいくつか寄せられている。
- ・カササギの巣を安易に壊さないように九州電力に申し入れたい。

（4）レンコン畑と野鳥

- ・防鳥ネットに絡まってしまい犠牲になる野鳥が後を絶たない。
野鳥がレンコンを食する事は確かにある。食害防止と野鳥保護を両立させたい。ネットを水面すれすれに張ったり、キラキラ光るテープをつけると野鳥の犠牲は減るかもしれない。
- ・佐賀県庁生産者支援課や白石町は、食害防止と野鳥の犠牲減を両立させるよう努力されるらしい。

（5）探鳥会保険・・・観察会の保険は現在の「プランB」を継続する。

（6）九州沖縄ブロック大会関連・・・佐賀県支部からは3人が参加する。

（7）支部総会議案書の検討

5月24日に支部総会が開催される。議案書や支部活動についての意見を出し合った。

- ・会員拡大に取り組んでいるが、会員数は横ばい状態である。



- 干潟については、これまでいろんな呼び方がされてきた。支部内部での呼び方は、統一したい。鹿島については茨城県にも同じ地名があるので、混同を避けたい。
大授搦、東与賀海岸、シチメンソウ自生地 →→ 東与賀干潟→東よか干潟
新筆海岸など →→ 肥前鹿島干潟
- 観察会は、今後リーダーを2人体制にしたい。
- 有明海干潟のラムサール条約登録に関連して支部としても学習会などを開催する。
- 病傷野鳥・野生生物の保護対策をしたいが、設備・ソフトが全くない。
行政機関と協議したい。
- 密猟を目撃したときは、警察へ通報するにとどめるべき。身の安全を優先すべき。
- 議案書においては、佐賀県支部規約改正についても言及する。
- 支部役員人事に関しては、一部変更となる。
- 他にもいくつか協議した。



森林公園利用者意見交換会報告

(報告者:事務局)

3月18日(水)に森林公園利用者意見交換会に出席したので報告します。
場所は、森林公園内の野球場特別室。

参加者は、佐賀県支部からは青柳良子副支部長と島田洋。森林公園の副島園長、副園長。水ものがたり館の荒牧軍治さん、吉野ケ里公園大沢園長。嘉瀬久保田地区のまちづくり協議会。嘉瀬保育園、久保田保育園。久保田公民館長。佐賀県軟式野球連盟の鶴理事長。ドッグライフサポートの古賀さん。佐賀県土木事務所の高垣課長【街路公園課】ら2名。佐賀県土づくり本部まちづくり推進課の前田係長ら2名。葉隠緑化建設JV委員の久保氏ら2名。合計20名余りでした。会議は、副島園長が議事進行にあたりました。

最初に自己紹介。その後フリートーク。さらに土木事務所の説明というプログラムでした。

私が、この会議で心がけたのは次の3点でした。

- ① 日本野鳥の会佐賀県支部の存在を印象付けたい。
- ② 森林公園を自然保護の場として強調したい。
- ③ 森林公園の東エリアでの大規模工事が根本から間違っている事を強調したい。

この3点においては、そこそこ、成功したと思います。

まちづくり協議会の方などからも賛同の発言がありました。

会議の場の空気としては、自然保護重視という空気にはなったと思います。

野球関係の方の発言は、球場傍に室内練習場がほしいというものでした。

水ものがたり館の荒牧館長からは「ほたるの棲む水環境を作りたい」というものでした。

土木事務所の説明がありましたが、高垣課長が強調したのは、次のような事でした。

「遊具や器具の老朽化。」 「公園内の起伏をなだらかにする『バリアフリー』化」



「公園が暗くて怖いという人がいる。」

「『アンケートにもそういう趣旨のアンケート』が来ている。だから工事する。」

「森林地区については、提案してもらえば作ってもいい。ただし地区を限定したい意向」
そうやって工事計画の図面を説明していました。

会議を終えた後で、私の中に痛烈な反省点が残りました。

次のことを言うべきだったという事です。

- ① 自然に接したことがない人にとって自然というのは怖いものである。
- ② 暗くて怖いという人には自然と接する機会を提供できるし森林公園はそういう場になるべきである。
- ③ アンケートというのは好き勝手に使うのがアンケートである。都合のいいように使うのがアンケート。
- ④ 計画は変えるのが計画であり変わるのが計画である。どんどん変えよう。

高垣課長は、野鳥の会から計画については意見を出してくださいといたしました。

次の点について、土木事務所に提案したいと思います。

- ① 自然保護の点からの公園づくり。ビオトープ化。
- ② 公園の確固とした将来像を示したい。
- ③ 運動施設、駐車場、遊具広場・芝生地区、水辺地区そして森林地区などのバランス。
- ④ ひいては野鳥の来るような森林公園を作りたい。

私の中で具体的な提案事項はまだ描けてません。どんな木を植えたいかなどの話もありましたが、これについても具体案がありません。

ビオトープや植栽、公園設計などについて詳しい方がおられたら御協力をお願いします。早めに提案しないと森林公園は、どうしようもないものになります。

支部総会開催のお知らせ

2015年度会総会を下記日程で開催します。2014年度の成果や反省を踏まえ、今年度の活動方針を決める大切な場です。これからも佐賀県支部を盛り上げていくためにも、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。

【日時】5月24日（日）10:00～

【場所】佐賀市大和町・石井樋公園の「水ものがたり館」

※当日は08:00から石井樋公園観察会を行います。観察会終了後、引き続き御参加下さい。



各地の観察会報告



■小城公園報告（小城市）

【日時】 平成 27 年 3 月 1 日

【参加者】 松原忠夫、原野正道、山口蒼生、江里口立子、田中照美、蒲原留美、江口富美子、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】 カイツブリ、アオサギ、ゴイサギ、キジバト、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シロハラ、ウグイス、エナガ、メジロ、カササギ、ハシボソラス

【案内役からの一言】

降水確率 80% でしたので「中止にしようかな？」と思いながら行きましたが、雨がだんだん小降りになって来たり、列車でやって来て下さった方もいらっしやっただので、「歩いてみましようか・・・」ということになりました。

1ヶ月前にはヒレンジャクが来ていたのですが、この日は静かなものでした。エナガとメジロの混群がにぎやかに飛び交っていましたが、姿はシルエット状態ちょっと残念。ウグイスもまだ「チャッ チャッ・・・」と。

梅の花は満開でした。「ホーホケキョ」とさえずりが聞こえるのも間近でしょう。春とは思えない寒い観察会でした。

■第 207 回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 27 年 3 月 8 日

【参加者】 宮原明幸、友岡周一、田中照美、小松茂子、田中義一、青柳良子、織田宏、織田トキエ、河口秀博、古川恵子、永島博、田丸久子、加藤芳隆、福田康典、田中丸雅雄、中島かおる、久富文江、江口富美子、高崎由美、山田るり子、山田みき、八木ひとみ、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】 カワウ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、チョウゲンボウ、オオバン、キジバト、ドバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

ぽかぽか陽気の春の一日でした。森林公園はまだ工事中です。いつまでやる事やら。9時過ぎに観察会を開始しました。草地には、ツグミやシロハラ。池のアシ原の枯れ穂が揺れます。

オオジュリンが、5、6羽忙しく動いていました。渡りを前に集まっているのかもしれませんが。

嘉瀬川には、カモたち。カルガモが大半を占めて



（写真提供：八木ひとみさん）

います。カワウも十数羽混じっていました。ここ何年か、カワウが増えたのは明らかです。河川敷の草地にはオオバンの大きな群れ。50羽を数えました。初めての参加者もおられました。新聞で知ったそうです。一月違うと景色も違うし、鳥の様子も変わります。

■「親子&初心者の観察会 in 大授搦」報告（佐賀市）

【日時】 平成27年3月22日

【参加者】 馬場清、柴田光、田中丸雅雄、本山智之、本山禮子、原野正道、友岡周一、阿部哲也、松田信義、加藤芳隆、宮原明幸、吉田俊明、島田洋、三川節子、ポール・コートニー、永島博、久富文江、田丸久子、青柳良子、青柳隆、江口征信、中村さやか（案内役）

【観察された野鳥】 ダイゼン、ハマシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ツクシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ヨシガモ、オナガガモ、セグロカモメ、ハシブトガラス、スズメ、モズ、アオサギ、ゴイサギ

【案内役からの一言】

事前の広報に手違いがあり、通常行っている観察会と同じように新聞等に掲載されてしまったので、期待していた、初めて鳥を見る方や親子連れが集まらず、少し残念でしたが、遠くは神奈川県から参加された方もあり、皆さんで観察を楽しみました。今回はいつもの観察会とは違い、皆さんとゆっくりとおしゃべりをする時間を設けましたので、お天気のいい中、芝生に座りお菓子やお茶で休憩しつつ、いろいろな自然の話や鳥の話に花が咲き、時間が足りないくらいでした。（^◇^）もちろん、干潟の鳥たちもたくさん観察することができました。数千羽のハマシギの乱舞に、参加者の皆さんからは感嘆の声が上がっていました。



①休憩中のクロツラヘラサギ



②水際のシギたち



③野鳥談義中

（写真提供：①松田信義さん ②中村さやかさん ③馬場清さん）

■「野鳥観察&天ぷら会 in 金立」報告（佐賀市）

【日時】 平成27年3月29日

【参加者】 友岡周一、原秀親、岩本朝昭・佳子・芽依（6歳）・^{ちひろ}千聖（3歳）、田丸久子、福島祥代、青木真理子、鶴田めぐみ、永島博、久富文江

福田康典、重信奈央、柴原とき子、中原正義、青柳良子、山口蒼生
原野正道（案内役）

【観察された野鳥】ホオジロ、ツグミ、シロハラ、エナガ、カワラヒワ、シジュウカラ、
ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス（声）、メジロ、ハシボソガラス、ミサゴ（?）

【案内役からの一言】

今年の金立徐福館のサプライズはエナガ君でしたね！
小さなエナガが大きな毛虫を運んでましたよね。
運んでる先の天井はフェルトのまるで小さなモンゴルの
ゲルのような感じでしたね。もう巣立ってくれたでしょう
ね。さて山菜会も楽しかったですね。
前日、朝のうちにタラノメ、芹、山芋、ノビル、蓴を
林道の縁で頂いて、昼からは相棒の蒼生（孫）を誘って
筍ほり。



何組かの方々が筍探しの中、私たちは座頭市よろしく足探りで、蒼生二本、私三本
を確保。次は沢登りです。私の秘密の花園に山葵をいただきに。ずっと昔に誰か
が植えたであろう、今は誰も来ていない上流は花盛りでした。白い可憐な花です。
今年の夏は野いばらと藤の蔓を払うつもりです。その時は オオルリが歓迎して
くれるでしょう。芹ご飯・嫁菜ご飯、美味しかったですね
ノビルのぐるぐる、シンプルな味付けの蓴、それぞれに係りが出来たようですね？
来年もやりますよー。
（写真提供：4点とも永島博さん）



野鳥観察中



エナガの巣



天ぷら会

■東与賀海岸・大授搦観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成27年4月5日

【参加者】 青柳良子、中村さやか、奥村信義、奥村重子、大川幸子、大川裕也、
永島博、久富文江、富永誠、八木ひとみ、加藤芳隆、橋本泰博、
田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、アオサギ、チュウサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、
ツクシガモ、コガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ハヤブサ、シロチドリ、メダイ
チドリ、ムナグロ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、
オバシギ、ミユビシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、
オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ユリカモ

メ、セグロカモメ、ズグロカモメ、コアジサシ、ヒバリ、ツバメ、タヒバリ、モズ、シロハラ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

前日の予報では降雨確率が80%と高く、今回も中止かと思われたが、当日の朝は雨が上がり曇り空。 集合時刻の9時には初参加の2名を含む6名が集まる。 さっそく堤防下に降りると、すでに水際は50mほどに迫り、鳥たちも近づいている。 突然ハヤブサが出現。シギ・チドリが舞い上がり、右へ左へと逃げ回る。春の渡りも始まり、夏羽に変わりつつあるオオソリハシシギ、オバシギが目立つ。腹が黒くなったハマシギ、胸が赤く色づいたメダイチドリ、今春初のチュウシャクシギ、ソリハシシギ、ムナグロ、キョウジョシギ、ここでは珍しいミユビシギも見られた。 クロツラヘラサギの黄色に染まった繁殖羽を間近に見られたのも収穫であった。今回は潮高に恵まれ干潟が数十m残り、満足な観察会となりました。

■第208回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成27年4月12日

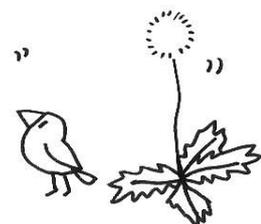
【参加者】 吉田俊明、友岡周一、小松常光、小松茂子、田中照美、田中義一、松原忠夫、田辺憲子、宮崎末徳、蒲原留美、青柳良子、野口美樹、野口ほのか、古川恵子、福田康典、永島博、橋本泰博、奥村信義、奥村重子、久富文江、宮原明幸、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】 カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、バン、オオバン、イソシギ、キジバト、ドバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、オオヨシキリ、ツリスガラ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

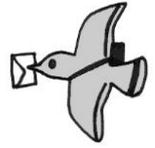
薄曇りです。9時前には20人ほどが集合。活発に情報交換が行われていました。9時過ぎに観察開始。ツバメが低く飛び、草の上にはアトリ。こういう風景は今の時期ならではです。森林公園の工事はまだ続いていました。すでに半年です。春になり、タンポポ、レンゲ、ノアザミの花をあちこちに見かけました。木の枝の高い所に2羽の野鳥。「なんだろう？わからん」正体はツリスガラ。みんながツリスガラに対して持っているイメージは、あし原でちらちらと忙しく動き回る姿です。樹の枝にとまっている姿は思いも浮かびませんでした。「こんなこともあるんだ」。嘉瀬川には少数のカルガモとマガモ。他のカモたちはすでに渡って行ってしまったようでした。夏鳥と冬鳥を同時に観察した観察会でした。

※2/22 東与賀・大授搦観察会は雨天のため中止しました。☔





皆さんからのおたより



●「鳥図の鳥たち 第5回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回、登場の鳥たちは春先から初夏にかけての野鳥で、ヤツガシラ、ホトトギス、キビタキを紹介します。この図譜には夏鳥のオオルリやクログミも掲載されています。表記はそれぞれ「八頭」「時鳥」「キビタキ」となっていて、以前に紹介した鳥と比べても、判り易くなっています。(編集係コメント:ヤツガシラの嘴は何で互い違いなのでしょうね)



八頭 (ヤツガシラ)



時鳥 (ホトトギス)



キビタキ

●「丹羽家の庭を訪問中の野鳥たち」・・・丹羽昭一さん（みやき町）

丹羽です。ご無沙汰しております。

この冬はたまにバードウォッチングに出かけても空振りばかりでした。自宅には冬鳥がけっこう来てくれまして、ジョウビタキ、アオジ、シロハラ、ミヤマホオジロ、アトリ、がおなじみさんで、だいたいはもう北のほうに帰ったようですが、4/13 現在、シロハラ、ミヤマホオジロ、アトリがまだ残っています。夏鳥といえるかどうかわかりませんが4/4 朝からアオバト、ヒクイナの音がきこえてきます。写真は庭のブルーベリーの花を食べているヒヨドリです。



「ヒヨドリの盗み食い?」

●「野鳥の会とコラボ??」・・・中村 さやかさん（鹿島市）

竹下製菓のブラックモンブランが面白いことになっています。当たり棒のイラストが今季は「バードウォッチゲーム」と題してかなりマニアックな野鳥が選定されています。(編集注:コノハズクやシロチドリ、ヘラサギなど普通は知らないでしょうね)



● 「支部の観察会も国際化？」・・・馬場 清さん（嬉野市）

3月22日（日）東よか干潟公園で初心者のシギ・チドリの渡り、冬鳥と夏鳥も見ようと観察会が開催されました。私は久しぶりの観察会参加でした。

現地に到着してみるといつもの雰囲気とは違います。ご家族、子ども連れの方は誰一人おられません？ 初心者の会ではない？（編集係注：理由は観察会報告をご覧ください）集合して見ると見知らぬ大人ばかりです。参加名簿を拝見したら県外の方が5～6名、しかも外国人の方も。佐賀県支部の観察会も国際的になったように見えた。満ち潮が干潟観察路近くに近づくにつれ、シギ・チドリ・クロツラヘラサギが間近に観察されて感動のひとつときでした。

場所を干潟公園の芝生の木陰に移し、お茶・駄菓子をいただき、鳥合せ、鳥情報交換、自己紹介へと、会は落ち着いた雰囲気に進んだ。

県外の方は野鳥の会会員さん、野鳥の写真家、鳥や自然にめっぽう詳しい方などがおられました。先の外国の方（イギリス人）は鳥や自然環境に詳しい方で、奥さんは環境問題や歴女（※編集係注：wikipediaによると、歴史や史跡に対してより真摯に活動する女性のこと、とある）として活躍されており、小田原にお住まいの方です。

前日は脊振山での鳥や自然の観察をされ、本日は干潟の観察会とのことでした。

その後、会話の中で町並みにも興味をお持ちのようで、嬉野市塩田津の国の重要建造物群保存地区へ案内しました。江戸後期以降の建造物や石造物には特に興味が深いようでした。予定の時間をオーバーする3時間の散策でした。

● 「森林公園が・・・！！」・・・松原 忠夫さん（多久市）

久しぶりに4/12森林公園観察会に参加しました。ヤツガシラ、ヤマシギなどが飛来していた場所の樹木がすっかり切り払われて遊具施設になっており、森林公園の名に値しない状況に変貌していました。定例観察地を金立公園などに変更することを検討すべきでは？ と思います。

● 「デジブック紹介します」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

『ナベコウに会いたい』

<http://www.digibook.net/d/Se15cd33a09ea07da3999Se2449d968a/?m>

『ヤツガシラに会いたい』

<http://www.digibook.net/d/e39481dba01ca270375a8Se46e8696ca/?m>

『鳥見 3月』

<http://www.digibook.net/d/a7c5ed1bb158aa38377212d6cc8c96cc/?m>

『鳥見 3月 干潟編』

<http://www.digibook.net/d/3214e177809ca27c2f751852849c9688/?m>





愛鳥モデル校だより

(報告者:馬場 清)

「愛鳥モデル校の子ども達より感謝の手紙」

先日、愛鳥モデル指定校の伊万里市立東山代小学校5年生全員の子も達より、支部指導員の方々に感謝とお礼の手紙を頂きました。

子ども達は5グループに分かれた各支部指導員5名に宛てて、「観察会で鳥について親切に詳しく教えてくれた事」「巣箱づくりでの手助け」に感謝の気持ちとお礼の手紙を書き、挿し絵も上手に描かれています。今春は6年生に進級され、下級生のみなさまの良きお兄さん、お姉さんなられた事でしょう。

私達も子どもの目線を見た、良き指導員であるべきと肝に銘じました。



有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)



5月	2(土)	8:00/5.1m	20:33/5.1m	5月	30(土)	6:35/4.8m	19:20/4.8m	
	3(日)	8:35/5.2m	21:11/5.3m		31(日)	7:17/5.0m	20:03/5.1m	
	4(祝)	9:10/5.3m	21:48/5.4m		6月	6(土)	11:16/5.2m	
	5(祝)	9:44/5.3m	22:25/5.4m			7(日)	0:06/5.3m	11:57/5.0m
	6(休)	10:17/5.3m	22:59/5.3m			13(土)	6:03/5.0m	18:55/5.0m
	9(土)	0:09/5.0m	11:57/4.8m			14(日)	7:00/5.1m	19:52/5.3m
	10(日)	0:50/4.8m	12:43/4.5m			20(土)	11:06/5.1m	23:50/5.2m
	16(土)	7:31/5.3m	20:10/5.5m			21(日)	11:36/4.9m	
	17(日)	8:19/5.4m	21:01/5.6m			27(土)	4:43/4.4m	17:49/4.3m
	23(土)	0:13/5.0m	11:53/4.7m			28(日)	5:45/4.6m	18:46/4.7m
24(日)	:46/4.7m	12:28/4.4m						

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう!

- 東与賀海岸
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト!
- 鹿島新籠海岸他
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト!

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





皆さんからの野鳥&生きもの情報



■宮崎 八州雄さん（鹿島市）

- 2月1日 【新籠】 ツクシガモ 791
【鹿島市飯田】 クロツラヘラサギ 2、カンムリカイツブリ 1、
ホシハジロ 1300+、スズガモ 6、ホシハジロ交雑♂1
- 2月7日 【大授搦】 アカツクシガモ 1、カンムリカイツブリ 1
※カンムリカイツブリは、当地の海上では初。
【上峰町】 リュウキュウサンショウクイ 1、オオタカ 1
- 2月8日 【大授搦】 アカツクシガモ 1、ミコアイサ♀1、ホオジロガモ♀1、
カワセミ 1 ※ミコアイサとホオジロガモは大授搦では初。
- 2月21日 【大授搦】 ミコアイサ♀1、マガン 3、コチョウゲンボウ 1、クロツラ
ヘラサギ 16、クイナ 1 ※ズグロカモメが小型のハゼクチを捕らえ
たが、セグロカモメ類に追われ、食べたかは不明。
- 3月2日 【新籠】 クロツラヘラサギ 8、ツクシガモ 1010+、ズグロカモメ 671、
ダイゼン 46、ハマシギ 280+
※ズグロカモメとツクシガモは当地の最大数
- 3月6日 【鹿島市納富分】 ヒレンジャク 3
- 3月17日 【鹿島市納富分】 ツバメ 1（初認）
【新籠】 ヘラサギ 4、クロツラヘラサギ 15、オオソリハシシギ 1（初認）、
ハウロクシギ 10、ダイシャクシギ 6、ツクシガモ 740+

■小松 常光さん（唐津市相知町）

- 2月5日 【唐津市相知町】 アトリー群
- 2月9日 【唐津市舞鶴橋上空】 トビ数十羽
- 2月11日 【唐津市玉島川】 カササギ、クサシギ、
ミサゴ、コガモ、カイツブリ、オオバン、
イソヒヨドリ
- 2月14日 【唐津市玉島川】 アオサギ+数羽、ミサゴ
【唐津市相知町伊岐佐】 ダイサギ
- 2月15日 【唐津市大名小路】 カササギ
【唐津市相知町伊岐佐】 カワセミ、
カシラダカ
- 2月16日 【唐津市玉島川】 ミサゴ、カワウ
- 2月17日 【唐津市相知町千束】 カササギ
- 2月20日 【唐津市相知町伊岐佐】 カササギ
- 2月22日 【唐津市相知町伊岐佐】 ヒバリ（声）、
ミヤマホオジロ、シジュウカラ、
アオジ、アトリ



コガモ



アオサギ



- 2月23日 【唐津市役所裏】カササギ4羽
【唐津市久里橋】カササギ、ミサゴ、カンムリカイツブリ
- 2月25日 【唐津市久里橋】カササギ4羽 【唐津市松浦川大堰】アオサギ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、ハクセキレイ、カワウ
- 3月2日 【唐津市鏡神社及び中原】カササギ
【唐津市鏡井樋田橋付近】ツバメ30数羽 【唐津市湊】ミサゴ2羽
【唐津市相知町伊岐佐】キジ（声）、ウグイス（声）
- 3月4日 【唐津市湊】ミサゴ4羽 【唐津市相知町伊岐佐】カササギ
- 3月13日 【唐津市松浦川河口】ミサゴ2羽 【唐津市久里上空】トビ数十羽
- 3月14日 【唐津市相知町伊岐佐】アトリ
- 3月20日 【唐津市相知町伊岐佐】カササギ
- 3月21日 【唐津市相知町伊岐佐】マヒワ、ミヤマホオジロ
- 3月22日 【唐津市相知町伊岐佐】ジョウビタキ
- 3月23日 【唐津市松浦橋上流】ミサゴ2羽
- 3月24日 【唐津市相知町伊岐佐】ミヤマホオジロ
- 3月29日 【唐津市見帰りの滝】カワガラス
- 3月31日 【唐津市相知町伊岐佐】キジ（声）
- 4月2日 【唐津市相知町伊岐佐】モズ、シジュウカラ、カワラヒワ、ヒヨドリ
【武雄市馬場の山桜付近】キジ（声）
- 4月5日 【佐賀大学病院駐車場】カワラヒワ 【小城市千葉城跡】ウグイス（声）
- 4月12日 【唐津市相知町伊岐佐】カササギ、オオルリ（声） 【小城市】カササギ



■加藤 芳隆さん（上峰町）

- 2月7日 【川副】ホシムクドリ9、タゲリ43
【大授搦】クロツラヘラサギ19、アカツクシガモ、オオハシシギ8、
ハウロクシギ、ダイシャクシギ、ツルシギ3、アオアシシギ
- 2月8日 【大授搦】クロツラヘラサギ16 【本庄江川】クロツラヘラサギ3
【鎮西山】ルリビタキ♂
- 2月14日 【川副】ムネアカタヒバリ11
- 2月15日 【佐賀市大和町】ヤマセミ2、オシドリ222、イカル9、
ミヤマホオジロ4
【福富】ホシムクドリ40、コチョウゲンボウ、ホオジロ、ツリスガラ
ツグミ、ヒクイナ、クイナ
【鎮西山】ウソ5、ルリビタキ♂、ヤマガラ、シジュウカラ、コゲラ、
エナガ、メジロ
- 2月21日 【大授搦】マガン3、ミコアイサ♀、クロツラヘラサギ14
- 2月22日 【鎮西山】クイタダキ、シジュウカラ、エナガ、ヤマガラ、
ルリビタキ♂2
- 3月1日 【鎮西山】オシドリ、カシラダカ、アトリ、ミヤマホオジロ、ルリビタキ、
コゲラ、ウソ、アオジ、ミソサザイ、メジロ、シロハラ、ツグミ

- 3月7日 【大授搦】 ツルシギ 1、クロツラヘラサギ 23、ヘラサギ 2、オオハシシギ 15
- 3月8日 【佐賀市大和町】 ヤマセミ 2、カワセミ 1、オシドリ 3
- 3月9日 【大授搦】 コオバシギ 1、ツルシギ 3
- 3月14日 【佐賀市大和町】 オシドリ 126、ヤマセミ 2、カワセミ 1、イカル 7
- 3月18日 【鳥栖市】 ツバメ 5、ケリ 8
- 3月22日 【佐賀市嘉瀬町】 アカアシシギ 18 【福富】 コチドリ
【大授】 ツルシギ 8、クロツラヘラサギ 24
- 3月29日 【佐賀市大和町】 カワセミ 2、ヤマセミ、カワガラス 3、カルガモ、コガモ、カイツブリ、オシドリ 77
【鎮西山】 ルリビタキ♂♀、オシドリ 11、コジュケイ、シロハラ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、ソウシチョウ
- 4月5日 【大授搦】 クロツラヘラサギ 30、オオメダイチドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ



支部からのお知らせ



●カササギ生息数調査表の返送にご協力をお願いします（事務局）

現在（4月初め）カササギたちは 巣作り・子育ての真っ最中です。皆さんの周りではそんな様子が観察されているでしょうか？今年「巣がどこにどのくらいあるのかな？」ということで調査していただいています。巣が見つけれなかった方も調査表を返送していただきたいと思います。もしも返送用封筒または記入用紙を紛失してしまった方は、観察会の折にでも、口頭でのご報告でも構いません。観察会に参加できない方は電話でも結構です。090-1659-7353（青柳 良子）へ。

この調査は一応5月末で集計したいと考えています。 よろしくお願い致します。

●コウノトリ飛来情報の提供をお願いします（事務局）

日本野鳥の会 及び「コウノトリ湿地ネット」からコウノトリ飛来情報提供のお願いがありました。コウノトリの飛来が確認できたら次の状況をメールでお知らせください。

- ① 飛来日時と飛去日時
- ② 場所 地名と周囲の環境（水田、湿地、道路わきなど）
- ③ 個体識別（望遠鏡等で確認が可能な場合）
- ④ 観察された方の名前

兵庫県立コウノトリの郷公園のホームページに放鳥個体の識別のための情報があります。

http://www.stork.u-hyogo.ac.jp/reintr/reintr_file/ind_identif.pdf

コウノトリの情報はメールで下記までお願いします。（下記アドレスに同時に報告）

toshima8560@iris.eonet.ne.jp（NPO コウノトリ湿地ネット）

hogo@wbsj.org（公益財団法人・日本野鳥の会）

●訂正とお詫び（編集係）

前号の野鳥さが198号において、数か所の間違がありました。

- ①表紙ページ：発行日付 **平成26年2月17日発行** → **平成27年2月17日発行**
- ②表紙ページ：写真の説明文 → 「海へ、山へ 冬の使者たち」に変更。
- ③2ページ：ラムサール条約登録関連の冒頭部分 環境安全省 → 環境省
- ④10ページ：ツル越冬地分散事業の記事・・・日付が間違っていたため、下記の通り、全面的に変更。

■ツル越冬地分散化事業・伊万里市長浜干拓地ツル監視活動に協力しました。

【飛来状況】

（報告者：馬場 清）

- 1月12日以前 2ファミリー7羽は長浜干拓地と対岸の木須干拓地を行き来していた。
1月13日 親子4羽のファミリーが長浜干拓地に終日おり、3羽のファミリーは木須干拓地にいた。
1月25日 武雄市武内町に北帰行のマナヅル100羽超の飛来があったと報道される。
1月25日 早朝、武雄市の集団とは別のマナヅル100羽超が長浜干拓地に飛来した。
26日に監視小屋に行き、久しぶりに大集団に遭遇し、感激しました。
この集団は28日の午前中に渡去したそうです。
監視小屋からの情報ではその後の移動は確認されていないそうです。
他の日付で松原さんも監視活動をされておられます。

- ⑤17ページ：宮崎八州雄さんの野鳥情報 11月16日分
シラコバト、ヘラサギ1、 → シラコバト1、ヘラサギ1、

- ⑥25ページ：表紙写真紹介の表題と
撮影者を訂正 →

お手数をおかけしますが、このページをコピーして、該当の箇所に貼り付けて訂正して下さい。今後このようなことがないよう十分に気を付けます。
なお、ネット配信のカラー支部報は②④⑥については修正済みを配信しています。

表紙の写真「海へ、山へ 冬の使者たち」

- | | |
|---------|----------|
| ①ヒレンジャク | ②ダイシャクシギ |
| ③ツクシガモ | ④ハギマシコ |



【写真提供】

- ①加藤芳隆さん
- ②③小松常光さん
- ④八木ひとみさん

※中村さやかさん、ラジオに出演・・・佐賀県支部のブログを運営されている鹿島市の中村さやかさんが4月16日、NHK ラジオ第一放送の「マイあさラジオ」に出演され、東よか干潟の野鳥についてお話をされました。この時の録音を中村さんの許可を得てインターネットで公開しています。お聞きになりたい方は下記のURL（アドレス）からファイルをダウンロードしてください。

<http://yahoo.jp/box/Zq8827>





最近の新聞・情報誌の記事から

ハヤブサの観察終了 国道203号厳木バイパス工事

国道203号厳木バイパス（唐津市厳木町中島―同市相知町長部田、6.3キロ）の整備をした佐賀国道事務所は、沿道に生息する希少種のハヤブサに影響を与えなかったことが確認できたとして、2006年秋から続けてきたカメラによる観察調査を14年度で終えたと発表した。

佐賀事務所「生態に影響見られず」

残り2キロの工事をしてい
た05年1月、2羽を沿道で
確認。その後、巣も見つか
った。事務所は工事を1年
半ストップし、工事手法を
練り直した。専門家につく
る保護検討委員会を設けて
意見を聴く一方、ハヤブサ
の観察も始め、工事を再開
した。

バイパスは全線が昨年3
月に開通。車の行き来は増
えたが、5月にヒナ3羽が
確認された。2羽はカラス
から巣の下に突き落とされ
たものの1羽は成長し、6
月に巣立った。事務所は今
年3月まで観察を続けたが
異常はなかったという。

事務所によると、この9
年余りの間、イタチ科のテ
ンやカラスに巣を狙われた
り、若い雌が未熟で繁殖行

動がない年もあったりした
ため、初めて巣立ちが確認
できたのは13年。昨年は2
度目だった。

事務所は「現在までハヤ

ブサも警戒感を示していな
い。検討委の同意を得たの
で、調査を打ち切ること
にした」としている。

（原口晋也）

（15/4/10 付け：朝日新聞）
記事提供：中村さやかさん

九州の鳥、分布拡大

絶滅危惧種や外来種 温暖化など影響

本州以南に飛来する絶
滅危惧種の鳥サンショウ
クイが、温暖化など気候
変動の影響で分布を拡大
しているとの調査結果
を、環境省が12日までに
まとめた。九州南部から
南西諸島に生息するリュ
ウキュウサンショウクイ
も九州北部や四国まで北
上、外来のソウシチョウ



ソウシチョウ（環境省提
供）

も生息域を拡大してお
り、環境省は「どのよう
な影響があるのか、引き
続き調べたい」としてい
る。

環境省は、地球温暖化
や外来種による影響など
生態系の変化を把握する
目的で、2003～12年
度にかけて全国約千地点
を継続調査した。

その結果、05～07年度
にリュウキュウサンショ
ウクイを確認したのは九
州南部や沖縄県など6地
点で観察された。

ソウシチョウは中国や
東南アジアが原産だが、
関東、近畿、九州の一部
から徐々に分布を広げ、
関東以南でも広く確認さ
れるようになった。

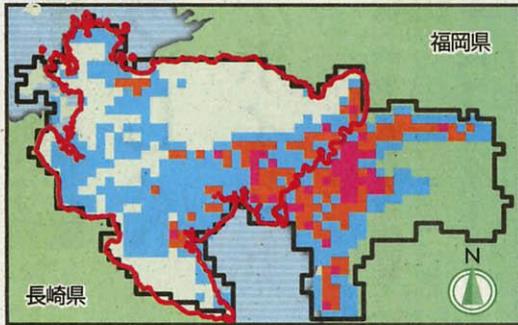
環境省によると、ソウ
シチョウは鳴き声が美し
く観賞用に人気があった
が、声が大きく騒音とし
て問題になったことなど
から人気落ちた。飼い
主が逃したり、業者が投
棄したりしたものが野外
に定着したとみられる。

（15/4/13 付け：日本経済新聞）
記事提供：松原忠夫さん



カササギ生息数維持

■佐賀県全域、福岡県南部における
カササギ営巣分布図(2013年)
0~40 ■ 41~100 ■ 101~ 調査範囲 県境



絶滅恐れなし
県調査で確認

佐賀市周辺から県外へ分散

佐賀市周辺に集中して生息していたカササギ(カチガラス)が、福岡、熊本県など県境を越え営巣区域を拡大し、全体的な個体数を維持していることが分かった。佐賀県

が減少傾向を懸念する声が佐賀市周辺に集中していた生息地が、今回の調査で大部分が天然記念物指定範囲外の福岡県筑後市、八女市付近に移っていることも確認され

1996年の調査では、佐賀市周辺に集中していた生息地が、今回の調査で大部分が天然記念物指定範囲外の福岡県筑後市、八女市付近に移っていることも確認され

「元に戻ったのでは」と分析する。

地域から、密度が低い地域への「自然な分散行動」で、絶滅を危惧するような状況ではないという。電柱への営巣数調査では、県全体の営巣数は5206個で、1万個を超えて最も多かった90年代と比較し、半減していた。ただ、爆発的に増加する前と同程度で、県文化財課は「元に戻ったのでは」と分析する。

また、「黒カラスに追いついてカササギが減少しているのでは」との指摘も多かったため、カラスのねぐらとカササギ営巣数増減の比較調査も実施したが、因果関係は認められなかった。

調査は、県鳥であり、国の天然記念物に指定されているカササギの個体数が減少しているという県民からの指摘を受け、2011年度から始めた。県内調査では鹿島や唐津で増加していることが分かったが、専門家会議で「県内だけでは不十分」と指摘があり、13年度は初めて福岡県筑後地方にも範囲を拡大した。

(川崎久美子)

(15/3/13 付け：佐賀新聞)





佐賀市と鹿島市の干潟

ラムサール条約登録へ

環境省は22日、国際的に重要な湿地の保全を目指すラムサール条約への登録に、佐賀市と鹿島市の干潟2カ所を含む4カ所を推薦すると発表した。6月にウルグアイで開かれる締約国会議までに登録が決まる見通し。国内の登録は50カ所となる。

推薦するのは、佐賀市東与賀町の東よか干潟（218鈔）、鹿島市北東部の肥前鹿島干潟（57鈔）、群馬県芳ヶ平湿地群、茨城県の涸沼。東よか干潟は、

来月決定 環境省が推薦、6月認定証
佐賀弁で「よい」の意味をかげよ
うと、「与賀」を「よか」と平仮
名表記にした。

県内2カ所はズグロカモメ、シギ、チドリなどが多く飛来し、渡り鳥の重要な中継地、越冬地となっている。ムツゴロウなども生息し、干潟独自の生態系を育んでいる。環境省によると、5月下旬にラムサール条約事務局で登録、6月1日開会の締約国会議で認定証が授与される見込み。

登録がほぼ確実となり、関係

者からは喜びの声が上がった。有明海の豊かさを子どもたちに伝え、清掃活動に取り組み佐賀市東与賀まちづくり協議会の西久保充会長(70)は「うれしくて感激した。これからも、できることは全力で協力したい」と声を弾ませた。秀島敏行佐賀市長は「登録に向けたステップが一步前進した。有明海の保全、再生や観光、産業などをはじめ、地域活性化につなげるよう取り組みたい」とのコメントを出した。

「登録は終わりではなく始まり」と話すのは鹿島市の樋口久俊市長。「自然豊かで環境に優しいまちというイメージを発信していくきっかけにしたい」と語った。山口祥義知事は「喜ばしいニュース。佐賀県の大きな売りになっていくのではないか」とした上で、見せ方の工夫が必要との認識を示し、「素晴らしい財産なので、これから努力をしていきたい」と述べた。

(山口貴由、円田浩二、井上武)

(15/4/23 付け：佐賀新聞)





5. Apr. 2015

☀ → ☀ Daijugarami
大津羽

AM 8:30 ~ 11:30 High tide 9:43 5.3m

Saga

Japan

Bird List ↓ Shorebirds

- ミロチドリ *Kemish Plover*
- ×ダイチドリ *Lesser Sand Plover*
- ムナグロ *Pacific Golden Plover*
- ダイゼン *Grey Plover*
- キョウジョシギ (1) *Ruddy Turnstone*
- トウネン *Red-necked Stint*
- ウズラシギ *Sharp-tailed Sandpiper*
- ハマシギ *Punlin*
- コオバシギ (1) *Red knot*
- オバシギ *Great knot*
- オオハシシギ *Long-billed Dowitcher*
- ツルシギ *Spotted Redshank*
- アオアシシギ *Common Greenshank*
- ソリハシシギ (2) *Terek Sandpiper*
- オオソリハシシギ *Bar-tailed Godwit*
- ダイシャクシギ *Eurasian Curlew*
- ホウロクシギ *Far Eastern Curlew*
- チユウシヤクシギ *Whimbrel*
- ミユビシギ (2) *Sanderling*

Great knot
breeding plumage.



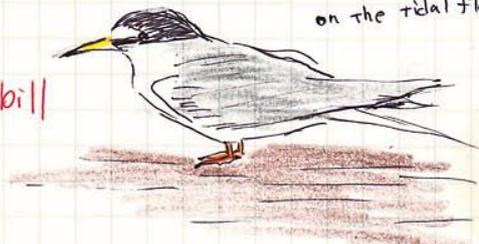
this season
first record
Apr. 5

大津で見かけたのは、はじめて!! 珍しい!!

Bird List ↓ Others

- ハシビロガモ *Northern Shoveler*
- コガモ *Teal*
- オナガガモ *Northern Pintail*
- ヨシガモ *Falcated Duck*
- オカヨシガモ *Gadwall*
- コアシサシ (7) *Little Tern*
- アオサギ *Grey Heron*
- ダイサギ *Great Egret*
- セグロカモメ *Herring Gull*
- ユリカモメ *Black-headed Gull*
- ズグロカモメ *Saunders's Gull*
- クロツラハサギ (30) *Black-faced Spoonbill*
- ハサギ (1) *Eurasian Spoonbill*
- ハヤブサ *Peregrine Falcon*
- ツクシガモ *Common Shelduck*
- ヒバリ *Eurasian Skylark*
- セッカ *Zitting Cisticola*
- モズ *Bull-headed Shrike*
- スズメ *Eurasian Tree Sparrow*
- シロハラ *Pale Thrush*
- タヒバリ *Buff-bellied Pipit*
- ハシボヤガラス *Carion Crow*
- ツバメ *Barn Swallow*

Little Tern
on the tidal flat.



Observer name Sayaka Nakamura





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費一般 300 円・会員 100 円・中学生以下無料)

日時：5月3日(日)、6月7日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：5月5日(火)、6月2日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：5月9日(土)、6月13(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：5月10(日)、6月14(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：5月17日(日)、6月21(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：5月23日(土)、6月27(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費 100 円)

日時：5月5日(日) 10:00~ (定例探鳥会)

場所：朝倉市・甘木公園 / 集合：10:00 甘木公園噴水駐車場前

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：5月10日(日) 高良山・四季の森探鳥会 (企画探鳥会)

場所：久留米市・高良山 / 集合：10:00 高良幼稚園駐車場

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：5月10日(日) 清水山 (バードウィーク企画探鳥会)

場所：みやま市 / 集合：9:00 みやま市瀬高町清水寺本坊庭園入口駐車場

担当：江口浩喜さん 携帯：090-4516-1123

日時：5月17日(日) 古処山 (バードウィーク企画探鳥会)

場所：朝倉市 / 集合：9:30 朝倉市秋月の秋月公宮駐車場 (秋月バス停前)

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：5月26日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

日時：5月31日(日) 溪流の鳥 (企画探鳥会)

場所：八女市 / 集合：9:00 八女市黒木町のふじの里

担当：松富士将和さん TEL：090-7159-3933

【最新野鳥情報】

4/21 森林公園に

オオルリ

情報&写真提供：

松田信義さん



~編集係りからのお知らせ~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集係り：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 TEL:0942-84-4391 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp

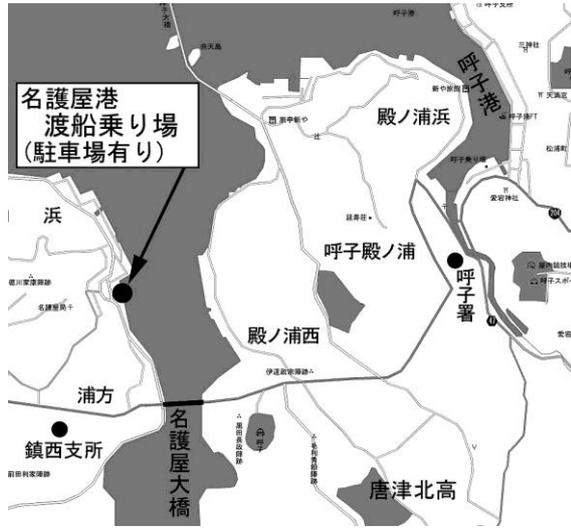




観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

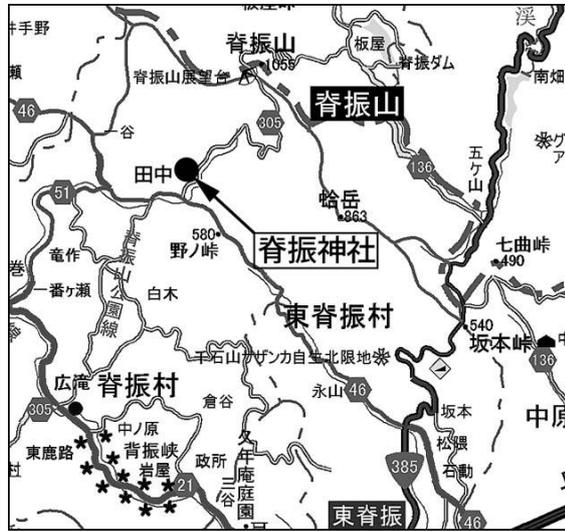
①4月26日 唐津市・馬渡島



②5月6日 東与賀・大授搦



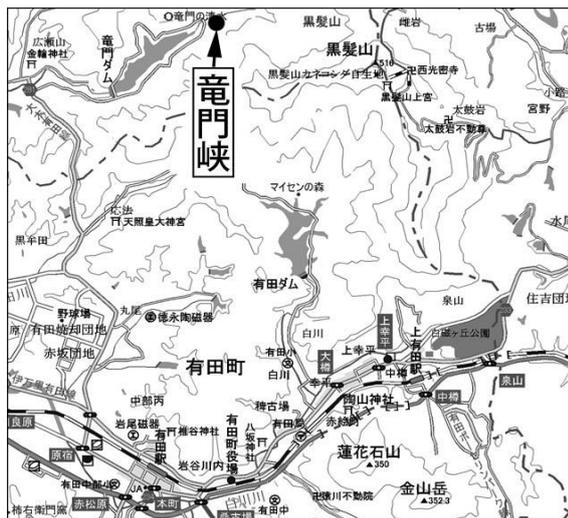
③5月10日 神崎市脊振町・脊振山



④5月24日 大和町・石井樋&支部総会



⑤6月7日 有田町・龍門峡



表紙の写真「彼らの目の先には・・・」

- ①ハイタカ
- ②ミサゴ
- ③ハヤブサ
- ④ノスリ



【写真提供】

- ①八木ひとみさん
- ②④小松常光さん
- ③馬場順一さん





観察会などのご案内 (2015年4月下旬～6月上旬)

①4月26日(日) 馬渡島観察会(唐津市)

[集合] 7:00 唐津市厳木町の「道の駅・厳木」または 8:20 頃に唐津市鎮西町の名護屋港駐車場。
名護屋港 08:35 発の渡船に乗船します。帰りは馬渡島 13:00 発の渡船です。(その後は 16:00)

[担当] 馬場 清さん (嬉野市) 090-1084-3852

[見どころ] カラスバトのほか、北へ向かう鳥や東へ向かう鳥が交差する渡りの中継地点として、意外な鳥との出会いがあるかも。

[その他] ①お握りやお茶など、簡単な昼食をご持参ください。雨具、タオルなども必要です。

②少しアップダウンのある島内を 6km ほど歩きます。軽快な足回りを。約 3 時間半の観察会になります。

③トイレは港の待合室の他、観察コース途中の教会でお借りできるそうです。

②5月6日(休)

東与賀大授搦海岸観察会(佐賀市)

[時間&場所] 8:00 東与賀・大授搦海岸展望台

[担当] 島田洋さん (佐賀市) 090-2393-1286

[見どころ] 日本一?のシギ・チドリ飛来地である

大授搦が一年で一番賑やかになる時期です。

珍鳥が飛来する可能性も大ですよ。

③5月10日(日)

脊振山観察会(神崎市)

[時間&場所] 08:00

神崎市脊振町腹巻の脊振神社(下宮)

[担当] 宮原 明幸さん (佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 新緑やミツバツツジなどが美しい脊振りの

森でさえずるオオルリ・キビタキ・センダイムシクイなど

の夏鳥たちの歌声を楽しみましょう。

④5月24日(日)

石井樋公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 8:00 佐賀市大和町 石井樋公園
の「水ものがたり館」

[担当] 青柳良子さん (小城市) 090-1659-7353

★観察会終了後、10:00 より「水ものがたり館」で

佐賀県支部総会を開催します。

詳しくは 4 ページをご覧ください。

②6月7日(日)

有田・竜門峡観察会(有田町)

[集合] 8:00 有田町 竜門峡駐車場

[担当] 宮原 明幸さん (佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] アカショウビン、サンコウチョウ、オオルリなど

を観察。ヤイロチョウの声も聴けるといいですね。

※5月2日～4日の見島探鳥ツアーは申し込みを締め切っていますので掲載していません。

共通事項

- ① 資料代、保険代として 100 円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
 電話 03-5436-2626(代) FAX 03-5436-2636
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
 事務局：島田 洋 (電話：携帯 090-2393-1286)
 〒849-0934 佐賀市開成 1-3-11
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」